

## 「環境保全と地域の活性化」について流域で考えよう

さくら湖自然環境フォーラム2003を開催

さくら湖周辺の自然環境保全と、地域の活性化を図る目的に平成12年から開催されている「さくら湖自然環境フォーラム2003」が11月7日（金）から8日（土）にかけて、三春町さくら湖自然観察ステーションで開催されました。

第1日目の7日（金）は、周辺の小中学校の皆さんによる調査発表と、郡山市の『りばあふれんど』の活動報告の他、「流域の環境と子どもたち」をテーマにしたパネルディスカッションも行われました。

発表者はそれぞれに、川に対しての思いを語り、活動することの大切さや、呼びかけを行いました。

### 【平成15年11月7日（金）フォーラム第1部】

研究報告1 さくら湖に注ぐ大滝根川の水質について  
～大滝根川5地点の水質調査結果とその考察～  
常葉町立関本小学校5年生の皆さん

環境問題について考え、自分自身の行動を常に振り返るように生活していきたいと思います。



調査地点を変えて、大滝根川の水質調査を行いました。

研究報告2 さくら湖周辺河川の水生生物から見た水環境について (3)  
三春町立中郷小学校6年生の皆さん

水生生物の数から見ると、牛楯川は年々汚れてきています。



研究報告3 学校周辺の環境学習を通して  
三春町立桜中学校3年生の皆さん



学校周辺にはどのようなフランクトンが生息しているのか？

活動報告 郡山市逢瀬川の清掃活動を通じた地域の活性化  
りばあふれんど世話人 相楽 昌男 氏



川に関心を持ってもらいたい。感じてもらいたい。自然の大切さを知って欲しい。

### パネルディスカッション

#### 「流域の環境と子どもたち」

コーディネーター 本田 忠治 氏  
パネラー 三春町立中郷小学校校長 田部 洋靖 氏  
三春町立沢石中学校教頭 糺田 祐子 氏  
りばあふれんど世話人 相楽 昌男 氏  
ネイチャーゲーム指導員 柳沼 清正 氏



三春ダムホームページで当日の様子を見ることが出来ます。  
<http://www.fbr.mlit.go.jp/mihara/>



2日目の8日（土）は、国土交通省青山俊樹顧問の基調講演に続き、応用生態工学研究所や日本大学大学院工学研究科などによる研究報告が行われ、「地域の交流と流域の環境」をテーマにパネルディスカッションが行われました。

【平成15年11月8日（土）フォーラム第2部】

基調講演「これからの暮らしと水」  
国土交通省顧問 青山 俊樹 氏

「世界の地域単位のエネルギー消費と人口の関係」について話す  
青山氏



研究報告1 さくら湖下流における水生生物の変化  
応用生態工学研究所員 齋藤 大 氏



水生生物の変化と、土砂供給およびリフレッシュ放流の効果について

研究報告2 三春ダムにおける栄養塩と植物プランクトンの分布状況  
日本大学大学院工学研究科 手塚 公裕 氏

三春ダムでは降雨によりN濃度の分布は変化しないが、P濃度の分布は高濃度を示します。



研究報告3 有機物の混入と富栄養化の進行について  
日本大学工学部4年 滝沢 悠 氏・大坊 元一 氏



食品と水との関係から水質汚濁がどのように進むのか？

研究報告4 さくら湖周辺の植生の変化について  
応用生態工学研究所員 浅見 和弘 氏



下流では、洪水調節によるピーク流量の抑制と、土砂供給の減少が植生に影響を及ぼします。

研究報告5 三春ダムにおける水質対策としての流動制御について  
三春ダム管理所・水質係長 佐々木 到 氏



貯水池表面の濁りが抑えられ、栄養塩類の供給を減らすことが可能です。

パネルディスカッション

「地域の交流と流域の環境」

コーディネーター

福島大学地域創造支援センター教授 鈴木 浩 氏

パネラー 国土交通省東北地方整備局河川部長

富田 和久 氏

船引町長

高塚 有暎 氏

三春ロータリークラブ環境保全委員会

小委員長 白岩 良子 氏

田村郡婦人会連絡協議会

会長 日下部 三枝 氏



2日間にわたり、非常に幅広い年齢層や職業の方々が集まり地域の活性化や、環境保全に関する今後の課題などについて様々な議論を交わしました。



ご協力ありがとうございました。  
皆様のご意見を  
お待ちしております。

## 国土研究発表会参加して

電気通信係 西村 彰仁

去る11月18日(火)と19日(水)、東京の品川TOCで開かれた国土研究発表会に東北地整代表として参加してきました。国土研究発表会とは、各地方で行われる管内技術研究発表会で選ばれた論題についての発表、報告を行うものです。分野は「一般部門」、「アカウントビリティ部門」、「新技術活用部門」の3つの部門に分かれ、私は新技術部門で「落雷の阻止について(防雷設備導入)」という論題で発表してきました。全国から集まった論題だけあり、論文内容は勿論のこと、発表者の説明もとてもレベルが高く、圧倒されるばかりでした。

残念ながら表彰を受けることは出来ず、管理所の皆さんに良い報告をすることは出来ませんでした。参加出来ただけでとても勉強になることが多かった発表会でした。



## 初期消火の大切さと火災の 恐ろしさを再確認



11月20日(木)に管理所内で、防火訓練が行われました。通報訓練、避難訓練に引き続き実際に消火器を使った消火訓練が行われました。

参加者は「今回の訓練で初めて消火器を使いました。勢いが強くてとても驚きました。実は小学生の時、家が火事になりました。幸い大きな火災にならずにすみましたが、改めて火災の怖さと初期消火の大切さを知りました。」と感想を述べていました。

火災は、その場に遭遇しないと実感が少ないと思います。訓練時だけではなく、普段から意識を持って、慌てずに対処したいものです。



## シリーズ 「私のふるさと紹介」

私のふるさととは、岩手県の最南端に位置する花泉町というところです。名前のおり花と泉の町ということで、町内のいたる所に花壇があり、シンボルとなる「花と泉の公園」では5月中旬から6月にかけて大輪のぼたんが咲いています。その後をすぐ追うようにシャクヤクが咲きます。このぼたんやシャクヤクが咲く時期は多くの観光客が訪れ、田んぼの中を走る道路が混むこともあります。



昔からの変わらぬ田園風景

また、町内には大小さまざまなため池があります。冬になると白鳥が訪れ、色々な所で姿を見かけます。実家のすぐ近くにも堤があり毎年数羽の白鳥がやってきて羽を休めています。

## 【岩手県・花泉町】の巻 管理係 菅原 良太

花泉やこの周辺の地域では、昔から行事のたびに餅をつく習慣があるようです。何かとっては餅がでてきます。私も小さい頃から家でよく食べていました。

私の通った小学校の前には北上川が流れていましたので、河原で遊んだりもしましたが、小さい頃は堤防の上から川をみるのが好きでした。今でも強く印象に残っているのは、大雨が止んだ後に堤防の上を走って行った時のことです。普段では想像もできないようなたくさんの濁った水が流れてきて、川沿いの道路のすぐ近くまで流れており、恐いなど思いながら見ていました。

今でも家のまわりは小さい頃に見ていたままの風景が広がっています。これからもあまり変わらないであってほしいと思います。



小学校の前を流れる北上川

ミーちゃん&ハル君の  
ちょっとからくち  
三春ダム

今年のさくら湖の水質が良かったみたいだけど、さくら湖の水は毎年アオコが出るし、おいしくなさそうよね・・・

確かに！さくら湖の水をそのまま飲んで、おいしくないし、もちろん飲むことはできないよ。でも水道の蛇口から出る時はちゃんと綺麗な水になっているから安心してよ。



水質係の高藤さん



私のおうちでは、井戸水を使ってるわ。井戸水は地下水だからきれいだし、夏は冷たくて冬は暖かいのよ。

ミーちゃんちは井戸水を使っているのか・・・。それはちょっと心配だな。ちゃんと水質の検査をやっていけばいいんだけど・・・。



あんなにきれいでおいしい水なのに  
何が心配なの？

井戸水には人体に良くない細菌が含まれていることがあるんだ。また、さくら湖の周辺は農業や畜産が盛んで、人もたくさん住んでいるよね。こういう地域の地下水には硝酸性窒素というものが多量に含まれていることがあるんだ。だから井戸水を使っている人は定期的に水質の検査をしておかなければ・・・

その「しょーさんせーちっど」って何なの？

11月のダム見学

- 11月11日(火) 三春町立御木沢小学校 23名
- 11月13日(木) 茨城県簡易水道協会 21名
- 11月21日(金) 二本松市立塩沢公民館 17名

ホームページ  
も見てね！



編集後記

今年も残すところわずかとなりました。今年一年どのような年だったでしょうか。そして、来年の抱負は？という時期になりました。

これからの時期、年末行事が多くなります。健康管理や車の運転には十分注意し、笑顔で新年を迎えましょう。(菅原)



すごく簡単に言えば、窒素の酸化物がイオンの形になったものだと思ってほしい。ちなみに水道水としては、硝酸及び亜硝酸性窒素が10mg/L以下でないといけないと規定されているよ。

へー規定があるんだ。

濃度の高い水を飲んだ人は具合が悪くなっちゃうの？

人が硝酸性窒素を多量に摂取すると、メトヘモグロビン血症という症状が出ることもある。これは一種の酸欠状態で、特に乳幼児に危険があり、アメリカの事例では乳児メトヘモグロビン血症の死亡率は、10%以上もあるんだよ。



えーっっ？！わたしのおうちではしているのかしら？！おうちの人に井戸の水質検査をしてくれるか詳しく聞いてみなくちゃ！！

それがいいね。自家用井戸の場合は、硝酸及び亜硝酸性窒素濃度が水道水質基準を超えている場合が5%以上あると言われていたからね。ちなみにさくら湖の水の、硝酸及び亜硝酸性窒素濃度は飲み水としての基準をクリアしてるから安心してね。

資料館からのお知らせ

12月25日(木)まで引き続き「糸糸の国の仲間たち」を開催中です。1月5日(月)からは、三春町(清水)の柳沼晴二氏による三春ダム水没地帯の写真展「追憶の溪流」を開催する予定です。



自然観察行-泊りからのお知らせ

- 12月12日(金) 星を見る会
- 12月14日(日) リース作り教室  
“さくら湖周辺にある植物などを使い、リースやかこの作品を製作します。”
- 12月20日(土) 星を見る会
- 12月21日(日) 凧作り教室  
“竹や和紙を使った凧の作り方や、季節風についての勉強もします。”



編集・発行

国土交通省  
東北地方整備局  
三春ダム管理所

皆様のご意見や情報の  
提供をお待ちしています。

〒963-7722 福島県田村郡三春町大字  
西方字中ノ内403-4  
TEL 0247-62-3145 FAX 0247-62-3170  
<http://www.thr.mlit.go.jp/miharu>